

立命館大学大学院
2017年度実施 入学試験

修士課程

言語教育情報研究科
言語教育情報専攻

入試方式	コース	実施月	専門科目	
			ページ	備考
一般入学試験	言語教育学 英語教育学プログラム	7月 (2017年9月入学)		
		9月	P.1~	
		2月	P.3~	
社会人入学試験(一般)		9月	P.1~	
		2月	P.3~	
社会人入学試験(自己推薦)		9月		
		2月		
社会人入学試験(協定)		9月		
		2月		
外国人留学生入学試験		7月 (2017年9月入学)		
		9月	P.1~	
		2月	P.3~	
学内進学入学試験	7月			
	9月			
	2月			
APU特別受入入学試験 ※卒業して入学しようとする者は学科試験なし	7月 (2017年9月入学)			
	9月			
	2月			
飛び級入学試験		2月		

立命館大学大学院
2017年度実施 入学試験

修士課程

言語教育情報研究科
言語教育情報専攻

入試方式	コース	実施月	専門科目	
			ページ	備考
一般入学試験	言語教育学 日本語教育学プログラム	9月	P.5~	
		2月	P.8~	
社会人入学試験(一般)		9月	P.5~	
		2月	P.8~	
社会人入学試験(自己推薦)		9月		
		2月		
社会人入学試験(協定)		9月		
		2月		
外国人留学生入学試験		9月	P.5~	
		2月	P.8~	
学内進学入学試験		7月		
		9月		
		2月		
APU特別受入入学試験 ※卒業して入学しようとする者は学科試験なし		7月 (2017年9月入学)		
		9月		
		2月		
飛び級入学試験	2月			

立命館大学大学院
2017年度実施 入学試験

修士課程

言語教育情報研究科
言語教育情報専攻

入試方式	コース	実施月	小論文(2017年9月入学) 専門科目(2018年4月入学)	
			ページ	備考
一般入学試験	言語情報コミュニケーション 日本語を研究対象と することを志望する場合	7月 (2017年9月入学)		
		9月	P.12～	
		2月	P.14～	
社会人入学試験(一般)		9月	P.12～	
		2月	P.14～	
社会人入学試験(自己推薦)		9月		
		2月		
社会人入学試験(協定)		9月		
		2月		
外国人留学生入学試験		7月 (2017年9月入学)	P.16～	
		9月	P.12～	
		2月	P.14～	
学内進学入学試験	7月			
	9月			
	2月			
APU特別受入入学試験 ※卒業して入学しようとする者は学科試験なし	7月 (2017年9月入学)			
	9月			
	2月			
飛び級入学試験		2月		

立命館大学大学院
2017年度実施 入学試験

修士課程

言語教育情報研究科
言語教育情報専攻

入試方式	コース	実施月	小論文(2017年9月入学) 専門科目(2018年4月入学)	
			ページ	備考
一般入学試験	言語情報コミュニケーション 英語を研究対象言語とすることを志望する場合	7月 (2017年9月入学)		
		9月		
		2月		
社会人入学試験(一般)		9月		
		2月		
社会人入学試験(自己推薦)		9月		
		2月		
社会人入学試験(協定)		9月		
		2月		
外国人留学生入学試験		7月 (2017年9月入学)		
		9月		
		2月		
学内進学入学試験		7月		
		9月		
		2月		
APU特別受入入学試験 ※卒業して入学しようとする者は学科試験なし	7月 (2017年9月入学)			
	9月			
	2月			
飛び級入学試験		2月		

2018年4月入学立命館大学大学院（2017年9月9日実施）

言語教育情報研究科 言語教育情報専攻（修士課程）

〔言語教育学コース英語教育学プログラム〕

入学試験問題

一般入学試験

社会人一般入学試験

外国人留学生入学試験

入試方式	試験時間	解答方法
一般入学試験	100分	Question 1・Question 2・Question 3 : 3問すべてを解答すること Question 1 は英語で解答すること Question 2・Question 3 は英語または日本語で解答すること
社会人一般入学試験 外国人留学生入学試験	80分	Question 1 は必ず解答すること 英語で解答すること Question 2・Question 3 のうちいずれか 1問を選択し解答すること 英語または日本語で解答すること

（途中退室はできません。）

解答にあたっての注意

1. 解答は、設問ごとに指定の答案用紙を使用すること。答案用紙は各問1枚のみ配布する（追加の答案用紙は配布しない）。
2. 配布されたすべての答案用紙に受験番号・氏名を記入すること。
3. 社会人一般入学試験または外国人留学生入学試験受験者は、問Ⅱまたは問Ⅲに解答する際は、答案用紙に選択した問題番号を記入すること。問題番号の記入がない場合は採点対象とならない。
4. 辞書の使用は認めない。

*この問題冊子は、試験終了後に回収します。

Question 1.

Nowadays, many people continue to learn and use English, and other foreign languages, for different reasons and purposes after leaving formal education. Discuss the importance of lifelong foreign-language learning. Give specific reasons and examples to support your points.

Question 2.

There are several constructions for referring to the future in English. Discuss, from a syntactic perspective, the variety of English constructions which commonly express future ideas. Give specific reasons and examples to support your points.

Question 3.

To what areas of pronunciation would you give priority in teaching English to a class of beginners who are speakers of your native language? Elaborate your answer by giving specific reasons and examples.

2018年4月入学立命館大学大学院(2018年2月11日実施)

言語教育情報研究科 言語教育情報専攻 (修士課程)

[言語教育学コース英語教育学プログラム]

入学試験問題

一般入学試験

社会人一般入学試験

外国人留学生入学試験

入試方式	試験時間	解答方法
一般入学試験	100分	Question 1・Question 2・Question 3 : 3問すべてに解答すること Question 1 は英語で解答すること Question 2・Question 3 は英語または日本語で解答すること
社会人一般入学試験 外国人留学生入学試験	80分	Question 1 は必ず解答すること 英語で解答すること Question 2・Question 3 のうちいずれか 1問を選択し解答すること 英語または日本語で解答すること

(途中退室はできません。)

解答にあたっての注意

1. 解答は、設問ごとに指定の答案用紙を使用すること。答案用紙は各問1枚のみ配布する(追加の答案用紙は配布しない)。
2. 配布されたすべての答案用紙に受験番号・氏名を記入すること。
3. 社会人一般入学試験または外国人留学生入学試験受験者は、問Ⅱまたは問Ⅲに解答する際は、答案用紙に選択した問題番号を記入すること。問題番号の記入がない場合は採点対象とならない。
4. 辞書の使用は認めない。

*この問題冊子は、試験終了後に回収します。

Question 1.

It is recommended that high-school English learners need to know 4,000 to 5,000 words in order to get ready for taking university entrance examinations.

- i) Give specific examples how teachers can instruct such a large number of words.
- ii) Explain the strategies that learners need to strengthen their learning of words.

Question 2.

Concerning second-language teaching, why are some aspects of the target language grammar (e.g. English) particularly hard to learn for many learners? Are there alternatives to the Grammar-Translation method for the effective teaching of such difficult aspects? Give specific reasons and examples to support your points.

Question 3.

How important is the role of motivation in language learning, especially in classroom contexts? At a deeper level, describe your understanding of the importance of motivational strategies, and other related factors.

2018年4月入学立命館大学大学院（2017年9月9日実施）

言語教育情報研究科 言語教育情報専攻（修士課程）

〔言語教育学コース日本語教育学プログラム〕

入学試験問題

一般入学試験

社会人一般入学試験

外国人留学生入学試験

入試方式	試験時間	解答方法
一般入学試験	100分	問Ⅰ・問Ⅱ・問Ⅲの3問すべてを解答すること
社会人一般入学試験 外国人留学生入学試験	80分	問Ⅰは必ず解答すること 問Ⅱ・問Ⅲのうちいずれか1問を選択し解答すること

（途中退室はできません。）

解答にあたっての注意

1. 解答は、設問ごとに指定の答案用紙を使用すること。答案用紙は各問1枚のみ配布する（追加の答案用紙は配布しない）。
2. 配布されたすべての答案用紙に受験番号・氏名を記入すること。
3. 社会人一般入学試験または外国人留学生入学試験受験者は、問Ⅱまたは問Ⅲに解答する際は、答案用紙に選択した問題番号を記入すること。問題番号の記入がない場合は採点対象とならない。
4. 辞書の使用は認めない。

*この問題冊子は、試験終了後に回収します。

問Ⅰ.

次の文章を読み、

- ①筆者の考えの要点をまとめ、
- ②筆者の主張について自分の考えを述べなさい。

漢字滅亡の予言

産業能率短期大学教授安本美典氏は昭和三十八年に、“漢字の余命はあと230年か”という予言をした。1900年から1955年までの100人の作家の100篇の小説(筑摩書房刊『現代日本文学全集』による)を選んで1000字ずつを抽出して漢字の数を調べたところ、 x を西暦年数、 y を1000字中の漢字の数とすると、

$$y = -1.244x + 2726.17$$

となった。そこで、この傾向で進むならば、西暦2190年ごろには、少なくとも小説の文章は仮名ばかりで書かれることになり、漢字は滅亡するだろう、というのである。

漢字が少なくなればなるほど漢字保護の運動が高まるという場合には漢字の余命は延びる。また漢字を減少させようとする勢が力を得て、国語政策などによって人為的に漢字を廃止しようとする場合には、漢字の余命は短くなる。しかし、これまでのデータからは2190年ごろの滅亡が妥当な推定だという(『漢字の将来—漢字の余命はあと230年か—』『言語生活』昭和三十八年、一三七号)。

もし漢字が滅亡すると仮定すると、それはどんな経過をたどってであろうか?

語彙の外来語化の傾向、漢字の仮名書きの傾向を放置しておいたとしても、日本人は、そう簡単には漢字を捨てることはないだろうと私は思う。漢字が便利な面を持っているからである。たとえば新聞の二行ないし五行程度の広告が漢字なしでは困難であるように、漢字は内容を凝縮して表す働きを持っている。また、駅名の表示、テレビや映画の題名表示、あるいは看板の言葉など、一目で何が書かれているかを読み取ることが必要な場合には、漢字は力を発揮する。だから、日本人は漢字をなかなか捨てないだろうが、漢字の知識が著しく低下した場合には、漢字は、基本的な語の表記と、

禁煙 駐車禁止 精算所

などの慣用語がちょうど一まとまりの図のように、つまり記号的表示として使われるようになるかもしれない。

それとともに考えられるのは、文章がすべて横書きになり、外来語、特に英語からの外来語がふえた場合、ローマ字の使用、つまり外来語を原語の綴りによって書くことが文章の中で行われるようになるかもしれないことである。このローマ字表記は、広告文のキャッチフレーズや横書きの新聞・週刊誌の見出し、学生のレポートなどから、次第に一般化して、文章の中に侵入していくだろう。

もし以上の想像が実現するならば“平仮名・片仮名・漢字・(ローマ字)交じり文”が、

(変化の第二段階) 平仮名・片仮名・ローマ字・漢字交じり

とローマ字と漢字との順序を入れかえる時が来るだろう。このローマ字化の傾向が、外来語の表記から、漢字の片仮名書きのローマ字化にまで及ぶと、

(変化の第三段階) 平仮名・ローマ字・片仮名・漢字交じり

となり、ローマ字が片仮名を食ってしまって、

(変化の第四段階) 平仮名・ローマ字・漢字交じり

となると予想することも決して無理ではない。(次ページに続く)

日本語をどうするか

この第四段階から更に日本語はどうか？これについては、国語政策をどう行うかによって決まると思う。漢字は、国語政策によって廃止すると決定しない以上、かなり長く使われ続けるだろう。またローマ字だけになることも、国語政策でそう決定しない限り無理であろう。たとえば「です」を"des"と書くように母音の無声化を表記に積極的に表さない限り、日本語には母音が多すぎて、ローマ字書き専用は効率が悪い。平仮名・ローマ字交ぜ書きの方が効率がいい。日本語の効率的なローマ字表記法を定めて、これを正式の日本語表記とする国語政策によらなければ、ローマ字だけの表記にはならず、第三段階あるいは第四段階の状態が長く続くように、私には思われる。

(樺島 忠夫『日本語はどう変わるか - 語彙と文字 -』岩波新書, 1981年, pp.191-193
一部改変)

問Ⅱ.

文章の中のわからないことばをクラスメート同士で確認したり、内容について質問しあったりする「ピア・リーディング」や自分たちの書いた文に対してクラスメート同士でコメントをしあったりする「ピア・レスポンス」を日本語の授業に取り入れる際に期待される効果と考えるべき課題について論じなさい。

問Ⅲ.

日本語の aspekto を表す形式の一つに、「動詞のテ中止形+アル」（以後、便宜的にテアル形と呼ぶ）がある。テアル形は、以下の例のように、「結果状態」を表す場合と「準備的行為」を表す場合がある。

- (1) 裏のドアが開けてあった。
- (2) 丁寧に魚の骨を取り除いてあった。
- (3) 現地の天候はちゃんと調べてある。
- (4) そういうこともあると思って、前もって休んであるから、気にしないで。

テアル形が「結果状態」「準備的行為」を表すのは、それぞれ、どのような場合か。必要があれば、さらに例文を追加して、説明しなさい。

2018年4月入学立命館大学大学院(2018年2月11日実施)

言語教育情報研究科 言語教育情報専攻 (修士課程)

〔言語教育学コース日本語教育学プログラム〕

入学試験問題

一般入学試験

社会人一般入学試験

外国人留学生入学試験

入試方式	試験時間	解答方法
一般入学試験	100分	問Ⅰ・問Ⅱ・問Ⅲの3問すべてに解答すること
社会人一般入学試験 外国人留学生入学試験	80分	問Ⅰは必ず解答すること 問Ⅱ・問Ⅲのうちいずれか1問を選択し解答すること

(途中退室はできません。)

解答にあたっての注意

1. 解答は、設問ごとに指定の答案用紙を使用すること。答案用紙は各問1枚のみ配布する(追加の答案用紙は配布しない)。
2. 配布されたすべての答案用紙に受験番号・氏名を記入すること。
3. 社会人一般入学試験または外国人留学生入学試験受験者は、問Ⅱまたは問Ⅲに解答する際は、答案用紙に選択した問題番号を記入すること。問題番号の記入がない場合は採点対象とならない。
4. 辞書の使用は認めない。

*この問題冊子は、試験終了後に回収します。

問Ⅰ.

次の文章を読み、

- ①筆者の主張とその根拠を述べ、
- ②「やりもらい表現」の提出順序について、あなたの考えとその理由を述べなさい。

ここでは、やりもらい表現の中の構文の提出順序について検討する。これまでの初級教科書のやりもらい表現の課を調べると、2とおりの提出方法がある。1つは、『みんなの日本語』のように、「あげる」「くれる」「もらう」という本動詞とその補助動詞「～てあげる」「～てくれる」「～てもらう」をまず出しておいて(7課と24課)、後に本動詞「いただく」、その補助動詞「～ていただく」などの敬語形式をまとめて提出する(41課)方法である。もう1つの方法は、『ICUの日本語』のように、「あげる」「さしあげる」などの本動詞を敬語形式も含めて一括して提出し(19課)、その後で、「～てあげる」「～てさしあげる」という補助動詞を提出する(20課)方法である。

まず、やりもらい表現の本動詞と補助動詞の違いについて明らかにしておく。本動詞は事実関係を表し、基本的に語彙レベルの問題である。「友達がりんごをくれた」には「りんご」の移動が事実としてある。したがって、「あげる」や「もらう」が語彙として先に提出されても不自然ではない。一方、補助動詞は主観的な使い方、極端に言えば、文法的には使わなくても間違いではなく、語用論的な問題となる。つまり、「友達が駅まで送ってくれた」と言う代わりに「友達が駅まで(私を)送った」と言っても事実関係に間違いはないが、友達はあまりいい気持ちがしないということである。

ところで、素朴な疑問(1)がわいてくる。

- (1) なぜ「あげる」「くれる」「もらう」、「～てあげる」「～てくれる」「～てもらう」の3つが常にセットで教えられるのか。

と言うのは、やりもらい表現の補助動詞の3つは同時に習得されないからである。「～てあげる」は、行為者(ここでは恩恵の与え手)と主語が一致するので、習得は難しくない。一方、恩恵を受けることを表す「～てくれる」と「～てもらう」については、音声による実験のYanagimachi(2000)においても、筆記テストによるTanaka(2005)においても、「～てくれる」が「～てもらう」に先行している。なぜ「～てくれる」が「～てもらう」に先行するかというと、まず、「行為者が主語に立つ文」が「行為の受け手が主語に立つ文」に対して無標、すなわち、より基本であるということ、そして、習得も「行為者が主語に立つ文」から「行為の受け手が主語に立つ文」へ進むと考えられるからである。英語の例を見ると、分かりやすいだろう。習得は(2)の「行為者が主語に立つ」能動文から、(3)の「行為の受け手が主語に立つ」受身文へと進む。

- (2) She asked me to go on a trip with her.
- (3) I was asked to go on a trip with her.

(2)(3)に対応する日本語の能動文、受身文はそれぞれ(4)(5)である。

- (4) 彼女が私を旅行に誘った。
- (5) 私は彼女に旅行に誘われた。

(6)の「～てくれる」は、(4)と同じ「行為者が主語に立つ文」であり、形式的にも易しい。能動文(4)の文末に「～てくれる」を付ければよいだけで、(5)の受身文や(7)の「～てもらおう」のように語順や助詞を変えたりする必要はない。

- (6) 彼女が私を旅行に誘ってくれた。
 (7) 私は彼女に旅行に誘ってもらった。

図1は、「日本語学的文法から独立した日本語文法」(白川博之)で述べられている「日本語学的文法」に依存するこれまでの教科書のヴォイスの提出順序の一部である。ここでは、能動文からやりもらい表現へ、そして受身表現(受身文)へと続く。やりもらい表現の「～てくれる」と「～てもらおう」は、まとめて大きな一つの文法項目として捉えられている。

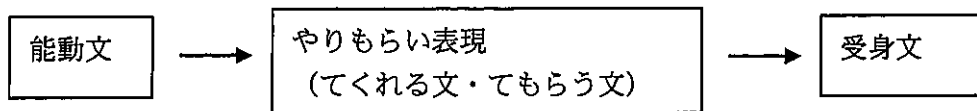


図1 これまでの教科書のヴォイスの提出順序

そして、学習者がヴォイスを習得していく順序も、同じように能動文からやりもらい表現へ、次には、受身文へと進むというふうに漠然と考えられていたのではないだろうか。しかし、学習者の実際の習得状況を考察すると、そうではなく、図2に示されるように、習得順序は、能動文からやりもらい表現の中の「～てくれる」へ、次に「～てもらおう」へと進んでいる。つまり、図2の下段に示されるように、「行為者が主語に立つ文」から「行為の受け手が主語に立つ文」へと習得が進むのである。

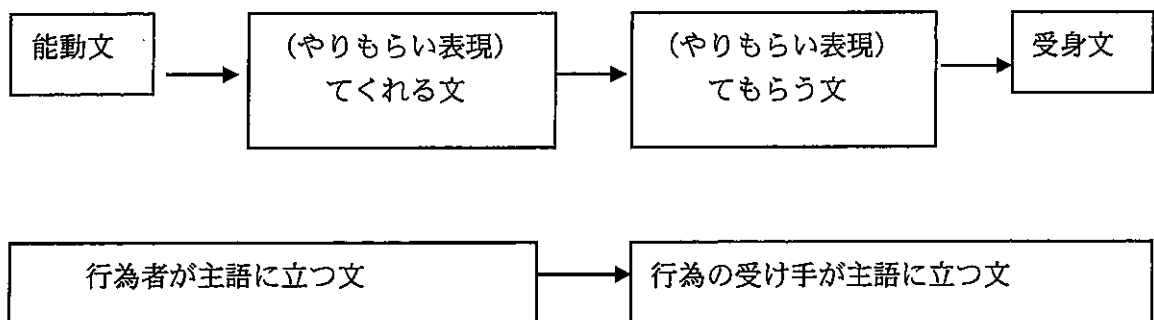


図2 学習者のヴォイスの習得順序

そこで提案したいのが、(8)である。

- (8) 早く習得されやすい「～てくれる」を「～てもらおう」よりも先に教えてはどうか。

言い換えれば、「やりもらい表現」の解体である。形式的あるいは意味的に近い構文を関係付けるといふ、これまでのセット感覚を捨て、学習者の習得状況を考慮した提出方法を試みるべきである。

「～てくれる」を先に提出し、積極的に活用するメリットはもう1点ある。「～てくれる」が使えれば、恩恵を受けたことを表せると同時に、自然な「視点」の文を作れる。つまり、「～てくれる」には「視点転換」の機能があるのである。日本語のディスコースでは、話者が関与することについて述べる場合には、普通は「私」を主語にする。しかし、「～てくれる」には、話者以外が主語に立っても自然な視点の文を作る機能があるのである。(9)と(10)の例文を見てみよう。(9)は来日3年目のアラビア語話者が書いた文である。

(9) 友だちは私にいっしょに旅行に行こうとさそったけど、ひまもないし、お金もないし ことわりました。(アラビア語話者、中級後期)

アラビア語は類型論的に日本語から遠い言語である。受身文は当然初級で学習済みのはずだが、(9)では出現していない。英語話者やアラビア語話者の場合には、「友達が誘った」のような「行為者が主語に立つ文」からなかなか抜け出せず、「友達に誘われた」という受身文が作れない。一方、次の(10)は、来日半年のインドネシア語話者の作文である。

(10) よるに、Mさんは私をせんとくにすれていってくれました。とてもうれしかったです。はじめて うまれて、せんとくへ行きました。(インドネシア語話者、初級後期)

(9)と同じく「行為者が主語に立つ文」であるが、「～てくれる」の使用によって自然な視点の文になり、(9)よりも自然な日本語に感じられるのではないだろうか。

「～てくれる」はやりもらい表現なので、無論、中立や迷惑の意を表すことはできないが、とりあえずは容易に自然な視点の文を作ることができる。まずは、感謝の意を表せることを優先するという方針で、行為者が主語に立つ構文、「～てくれる」を積極的に活用すべきだろう。

(田中真理「学習者の習得を考慮した日本語教育文法」 野田尚史編『コミュニケーションのための日本語教育文法』くろしお出版、2005年、pp. 66-70 一部改変)

問Ⅱ.

日本語の授業で媒介語を入れて指導することの是非について論じなさい。

問Ⅲ.

日本語の「清音」「濁音」とはどのような音であるかを音声学的に記述しなさい。

2018年4月入学立命館大学大学院（2017年9月9日実施）

言語教育情報研究科 言語教育情報専攻（修士課程）

〔 言語情報コミュニケーションコース
（日本語を研究対象とする） 〕

入学試験問題

一般入学試験

社会人一般入学試験

外国人留学生入学試験

入試方式	試験時間	解答方法
一般入学試験	100分	問Ⅰ・問Ⅱ・問Ⅲの3問すべてを解答すること
社会人一般入学試験 外国人留学生入学試験	80分	問Ⅰは必ず解答すること 問Ⅱ・問Ⅲのうちいずれか1問を選択し解答すること

（途中退室はできません。）

解答にあたっての注意

1. 解答は、設問ごとに指定の答案用紙を使用すること。答案用紙は各問1枚のみ配布する（追加の答案用紙は配布しない）。
2. 配布されたすべての答案用紙に受験番号・氏名を記入すること。
3. 社会人一般入学試験または外国人留学生入学試験受験者は、問Ⅱまたは問Ⅲに解答する際は、答案用紙に選択した問題番号を記入すること。問題番号の記入がない場合は採点対象とならない。
4. 辞書の使用は認めない。

*この問題冊子は、試験終了後に回収します。

問Ⅰ.

言語の記述的研究と理論的研究の関係に関して、具体的な言語現象に言及しながら、論述しなさい。

問Ⅱ.

日本語の子音語幹動詞（いわゆる五段活用動詞）は、接尾辞テが後接する際に、語幹部分が音便形になる。語幹部分が変化を被るだけでなく、接尾辞/-te/も[de]という有声化を被った音形になる場合がある。以下のデータから、どのような条件でどのような音韻プロセスが生じるか記述しなさい。そして、複数の音韻プロセスがどのような関係にあるか論じなさい。

	形態的構成	音声的実現
語幹末/k/（書く）	//kak-te//	[kaite]
語幹末/g/（嗅ぐ）	//kag-te//	[kaide]
語幹末/s/（貸す）	//kas-te//	[kacite]
語幹末/t/（勝つ）	//kat-te//	[katte]
語幹末/x/（刈る）	//kar-te//	[katte]
語幹末/w/（買う）	//kaw-te//	[katte]
語幹末/n/（死ぬ）	//sin-te//	[sinde]
語幹末/m/（噛む）	//kam-te//	[kande]
語幹末/b/（飛ぶ）	//tob-te//	[tonde]

問Ⅲ.

(1)～(3)の例文に示すように、日本語の使役文では被使役者（動作をさせられる側の人）を格助詞「を」でマークする場合と格助詞「に」でマークする場合がある。被使役者を表すために「を」が用いられる条件と「に」が用いられる条件を論じなさい。論じる際には(1)～(3)以外の例文も使ってよいことにする。

- (1) 彼は子供たちを庭で遊ばせた。
- (2) 彼は子供たちに庭で騒がせておいた。
- (3) 彼は子供たちにそろばんを習わせた。

2018年4月入学立命館大学大学院(2018年2月11日実施)

言語教育情報研究科 言語教育情報専攻 (修士課程)

(言語情報コミュニケーションコース
(日本語を研究対象とする))

入学試験問題

一般入学試験
社会人一般入学試験
外国人留学生入学試験

入試方式	試験時間	解答方法
一般入学試験	100分	問Ⅰ・問Ⅱ・問Ⅲの3問すべてに解答すること
社会人一般入学試験 外国人留学生入学試験	80分	問Ⅰは必ず解答すること 問Ⅱ・問Ⅲのうちいずれか1問を選択し解答すること

(途中退室はできません。)

解答にあたっての注意

1. 解答は、設問ごとに指定の答案用紙を使用すること。答案用紙は各問1枚のみ配布する(追加の答案用紙は配布しない)。
2. 配布されたすべての答案用紙に受験番号・氏名を記入すること。
3. 社会人一般入学試験または外国人留学生入学試験受験者は、問Ⅱまたは問Ⅲに解答する際は、答案用紙に選択した問題番号を記入すること。問題番号の記入がない場合は採点対象とならない。
4. 辞書の使用は認めない。

*この問題冊子は、試験終了後に回収します。

問Ⅰ.

言語研究を行うためには、自説を論証するために証拠が必要である。証拠は様々な方法で得られるが、その方法について具体例を挙げて論じなさい。その際、それぞれの方法について、長所・短所を述べること。

問Ⅱ.

日本語（標準語）の動詞にはアクセント核のあるものとアクセント核のないものがある。アクセント核のある動詞は語末から2モーラ目にアクセント核が来るのが一般的である（例：見る（高低）、食べる（低高低）、書く（高低）、招く（低高低）。このアクセント核の配置は使役や受動の接尾辞を付けた場合にも保たれる（例：食べさせる（低高高低）、食べられる（低高高低）。一方、否定接尾辞と過去接尾辞を付けた場合には語末から2モーラ目ではない場所にアクセント核が配置される（例：食べない（低高低低）、食べた（高低低）。否定形および過去形で語末から2モーラ目にアクセント核が配置されないのは何故か論じなさい。

問Ⅲ.

日本語の可能構文には三つの格枠組み (case frame) があることが知られている。例えば「書く」から派生した可能動詞「書ける」を述部とする文は、「彼がきれいな字を書ける（こと）」「彼がきれいな字が書ける（こと）」「彼にきれいな字が書ける（こと）」の3通りの格枠組みが可能である。一方、「*彼にきれいな字を書ける（こと）」のような格枠組みの文は許されない。可能構文において許される格枠組みから、日本語の格枠組みにどのような制約があるか論じなさい。

2017 年度立命館大学大学院（2017 年 7 月 2 日実施）

言語教育情報研究科 言語教育情報専攻（修士課程）

言語情報コミュニケーションコース
（日本語を研究対象とする）

入学試験問題

外国人留学生入学試験

小論文

入試方式	試験時間	解答方法
外国人留学生入学試験	80 分	問Ⅰ・問Ⅱのすべてを解答すること。

（途中退室はできません。）

解答にあたっての注意

1. 解答は、設問ごとに指定の答案用紙を使用すること。
2. 配布されたすべての答案用紙に受験番号・氏名を記入すること。
3. 答案用紙は 1 枚ずつ配布します。1 枚目の表面・裏面を使用して、2 枚目が必要となった場合は挙手をすること。試験監督者が配布します。
4. 辞書の使用は認めない。

*この問題冊子は、試験終了後に回収します。

問Ⅰ

言語変化には体系内部の要因によるものと他の言語との接触によるものがある。異なる言語（あるいは方言）との接触により新しく生じた単語もしくは文法現象（音韻的なものを含む）の具体例を指摘し、新しい単語もしくは文法現象が生じた要因について論じなさい。例は日本語に限定しない。なお、日本語と英語以外の例を出す際には用例について説明を加えること。

問Ⅱ

日本語のテイル形の解釈は多様である。「働く」「死ぬ」「溶ける」のテイル形の解釈の違いを指摘し、なぜこのような解釈の違いが生じるか論じなさい。